

平成26年度予算見積調書

課室名：農産物安全課
 担当名：有機・安全生産担当
 内線：4057

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
B20	埼玉スマートGAP推進事業	一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし			戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化
					分野施策	010404 食の安全・安心の確保	
1 事業の概要 県産農産物の安全に対する信頼性の向上を図るため、県独自のGAP(S-GAP)の仕様を策定し、担い手の拡大を推進する。 (1) GAP普及事業 3,937千円 (2) S-GAP策定事業 3,329千円		5 事業説明 (1) 事業内容 ア GAP普及事業 3,937千円 GAP普及のため、生産者への説明会や指導者の育成を実施する。 ・安全安心農産物推進説明会の開催(1回、200人) ・GAP地域説明会の開催(各農林振興センター1回、各60人、計8回) ・S-GAP指導者説明会の開催(1回、100人) イ S-GAP策定事業 3,329千円 S-GAPの仕様策定を行う。 ・S-GAPの仕様の仮策定、本策定 ・S-GAP検討委員会の開催(計10回、委員10名) ・S-GAP実務者会議の開催(計10回) ・モデル農家によるS-GAP仕様仮策定の実証(3農家)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)		(2) 事業計画 GAPの普及、S-GAPの仕様策定、モデル農家での実証 【目標】平成28年度までに6,000戸の農家がS-GAPに取り組む。					
3 地方財政措置の状況 なし		(3) 事業効果 GAPの普及により、県産農産物の安全性が向上する(GAP普及率の上昇)。 県産農産物のイメージ向上が消費者へのPRとなり、生産者がGAPに取り組むメリットとなる。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円		(4) その他 JAグループは、県と協調して推進を図っていく。					
予算額		財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	7,266					7,266	7,266
前年額							